



育子園のうさぎ
みみちゃんの
みみよりHOTニュース

① 新しい絵本が増えます、お楽しみに！



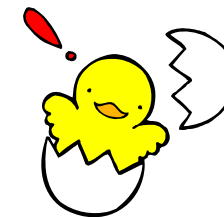
◎ 新しい絵本が増えます ◎

法人本部が経営母体の佼成出版社の児童書、50冊の寄贈を受けました。
佼成出版社は主に仏教書を手掛けていますが、0歳からの子どもの本も数多く取り扱っています。発刊された本の中には、育子園の職員が監修のお手伝いをした絵本もあります。
今回寄贈いただいた本は、各保育室や2階図書コーナーに配置します。



新人職員紹介

「初めまして、
よろしく
お願いします」★



〇〇先生

今年度から、たんぽぽ組を担当させていただきます小松宏衣です★保育士になって初めてのクラスですが、諸先輩の先生方に教えて頂きながら、取り組ませて頂きます★早く子ども達や保護者の皆さまに安心して頂けるよう精進していききたいと思います。

〇〇先生

4月から新しくそらグループに入りました長谷川稀子(きこ)です★3月に卒業し、今20歳です★まだまだ未熟な私ですが、早く子ども達と仲良くなり、一日一日を楽しく、頑張っていきたいと思っております★これから、どうぞよろしくお願い致します。

★「見守る保育」は、新宿せいが保育園 藤森園長主宰のギビングツリーが提案している保育です★
～ シリーズ「見守る保育」～

あるお父さんから心温まる話を聞きました。

ご自身がぎっくり腰になって、あらためて家族の優しさを感じたという話です。

1月のある日、お父さんは仕事が終わって帰宅しました。そしていつものように洗面所で手洗い、うがいをしようと腰をかがめた時、ギクツと腰に激痛がはりました。

そのまま動けなくなり病院でぎっくり腰と診断されました。

何日か静養してやっと仕事に出かけようと支度をしますが、どうしても自分で出来ないことがありました。

それは靴下を履くことでした。

その日から毎日、奥さんに靴下を履かせてもらっていましたが、ある日奥さんが体調を崩して寝込んでしまいました。

すると小学3年生のお子さんが奥さんの代わりに靴下を履かせてくれました。

心やさしく育った子どもの成長に涙が出るほどうれしくなりました。

何気なく当たり前のように過ごしている毎日ですが、ぎっくり腰を経験して自分一人では何もできないことや、家族や職場の皆さんのやさしさを発見できたと明るく話してくれました。アメリカでぎっくり腰のことを「魔女の一撃」と言うそうですが、このお父さんのように受け取り方を変えると「おかげ様」に沢山気づけるきっかけとなるのですね。

子どもは親の姿をちゃんと見逃さずに見ているのです。



(2011.3.1 育子園ホームページ 園長ブログより)

お世話に
なりました



〇〇先生

〇〇先生

平成23年度
クラス編成及びレイアウト

3~5歳児		
(うみG) 37人	(にじG) 39人	(そらG) 39人
もゆひ まわ もりり	もゆひ まわ もりり	もゆひ まわ もりり

0歳児 (おひさまG) 9人
つぼみ

1歳児 (おひさまG) 35人
ふふふ じじじ

2歳児 (おひさまG) 36人
きたんぽぽ くぼ

